

# JHL NEWS

No.10

2013年11月5日

●発行●  
日本ハンドボールリーグ機構  
会長 多田 博  
東京都渋谷区神南1-1-1  
電話 03-3481-2494

## 車体、広島が首位に浮上！

### ～第38回 日本ハンドボールリーグ・第9週～

第38回日本ハンドボールリーグ・第9週は男子8試合、女子5試合が行われ、佐賀での2連戦に勝利したトヨタ車体と、オムロンに2点差で競り勝った広島メイプルレッズが首位に立った。

3日佐賀でのトヨタ紡織九州-車体は、前半はともに持ち味を活かした攻守で一進一退の攻防を展開、14-13と車体1点リードで前半を折り返した。後半に入つて車体の攻撃にエンジンがかかり、高智の得点などで徐々にリードを広げた。紡織もGK松野の好セーブなどで守りを固めるが、車体は20分過ぎからの6連取で一気にスパート。終盤、速攻で反撃を試みる紡織を振り切った。この試合で車体・鶴谷が通算400得点を達成した。

3日沖縄での大同特殊鋼-豊田合成は、大同が高景洙を軸とした攻撃で好スタート。合成も高にマンツーマンディフェンスを仕掛けて反撃し、前半14分6-6と同点に並んだが、この後、GKを東に代えてディフェンスの立て直しを図った大同が24分過ぎからの4連取で13-10と形勢を逆転して前半終了。後半に入り、地力に勝る大同は10分過ぎからの6連取で抜け出し、17分25-15と大きくリード。合成は高い巧技にGK陣が崩され、後半は攻撃も淡泊になってしまった。

琉球コラソン-大崎電気は、大崎の退場に乘じて17分7-7と同点に追いついた琉球が、その後も果敢な攻守を展開して11-10で前半終了。しかし、後半に入ると琉球は6:0シフトに切り替えた大崎の高さのあるディフェンスを攻めあぐねてしまう。足の止まった琉球に対し、大崎は速攻で得点を重ねて12分18-14とリード。琉球も最後まで粘ったがそのまま試合を支配した大崎が逃げ切った。

4日沖縄での大崎-湧永製薬は、大崎・小室が連続してポストシュートを決め10分6-2と先行。その後は湧永も成田、東江らで加点して一進一退の攻防が続き、大崎が15-10と5点リードで前半終了。後半も点を取り合う展開となり、20分過ぎに速攻で得点を重ねた湧永が1点差まで迫ったが、大崎は信太のミドルシュート、宮崎のステップシュートで貴重な追加点を奪い、最後は30-27で勝利を握った。

琉球-合成は、前半9分2-6と4点ビハインドの琉球がタイムアウト後、名嘉(真)らの活躍で25分過ぎに同点に追いつくと、途中出場のGK内田の好セーブからの速攻などで逆転、14-11とリードして前半を終えた。後半も琉球ペースで10分6点リード。ここから合成も反撃に転じ、今村、出村らで23分24-23と逆転するが26分に今村が痛恨の失格。この機に乘じて再びリードを奪った琉球は残り5秒、GK内田が合成・出村のサイドシュートを阻んで熱戦に終止符を打った。

2日長崎での女子・オムロン-広島は、オムロンが松本、永田らで加点すれば広島も高山、増田らで応戦し11-11で前半終了。後半も両チーム激しいディフェンスが続く中、広島は大前、宋海林の3連打で10分17-14と抜け出した。ここでオムロンはタイムアウトを取り、速いパス回しから仕掛けるも、広島の堅い守りとGK田口の好セーブに阻まれて苦戦。広島はオムロンのミスを宋の速攻につなげて23分22-18と先行し、オムロンの終盤の反撃をかわして24-22で勝利した。

2日岐阜での飛騨高山ブラックブルズ岐阜-ソニーセミコンダクタは、スタートから一進一退の展開となり、前半26分10-10の場面から金恩恵、友野の連打で飛騨高山が2点先行してターン。後半、ソニーは藤井の7mスローで逆転とすると、12分過ぎから速攻を中心とした多彩な攻撃で5点を連取、試合の流れを一気に引き寄せた。飛騨高山はGK菊池が奮戦したが後半4得点にとどまり力尽きた。



①連勝で首位に立ったトヨタ車体・鶴谷

②手堅く勝利をもとにした大同特殊鋼・高

③上位浮上を狙うソニーセミコンダクタ・錦織

### 第10週の日程

11月9日(土)	富山	氷見市ふれあいスポーツセンター(JR氷見線氷見駅徒歩30分)	15:00~ 17:00~	(男) (男)	豊田合 成×トヨタ紡織九州
	石川	小松総合体育館(JR北陸本線小松駅徒歩20分)	18:00~	(女)	北陸電力×大崎電気
	愛知	枇杷島スポーツセンター(名鉄名古屋本線東枇杷島駅徒歩7分)	13:00~	(男)	大同特殊鋼×琉球コラソン
	広島	中区スポーツセンター(広電広電本社前駅徒歩3分)	14:00~	(男)	湧永製薬×トヨタ車体



JHL NEWS JHL NEWS JHL NEWS JHL NEWS JHL NEWS JHL NEWS



三重バイオレットアイリス・阪本

### 三重が名古屋、飛騨高山を連破

三重バイオレットアイリスが、H C 名古屋、飛騨高山ブラックブルズ岐阜に連勝した。2日岐阜での名古屋戦は前半9分3-3から三重が原らで4連取、その後もG K 毛利の7mスロー阻止もあってベースを握り12-3で前半終了。後半も石坂、原らで着実に点数を重ねて危なげなく逃げ切った。3日愛知での飛騨高山戦は後半10分14-16と飛騨高山の先行を許した三重が、この後、退場が相次ぐ苦しい展開をしのぎ阿久田のカットインで19分18-17と再逆転、さらに24分過ぎから原、竹内らで5連取して勝利をたぐり寄せた。

愛知での名古屋 - ソニー・セミコンダクタは、石井、田中らで先行するソニーに対し、名古屋も細田、G K 戸塚らの奮戦で食い下がった。しかし、ソニーは13-11と2点リードで迎えた後半、13分過ぎから錦織らの活躍で一気にリードを広げ、22分24-15として勝利を決定づけた。

### 首位奪還かけオムロンと北國が激突

次週は11月9日に富山などで男子4試合、女子1試合が行われる。男子では単独トップに立ったトヨタ車体が湧永製薬を相手にどんな戦いぶりを見せるか。大同特殊鋼 - 琉球コラソンの行方にも注目。女子はオムロンが石川で北國銀行と対戦。第1クールは26-26の引き分けで、この試合を制した方が首位を奪回できるとあって両チームの死力を尽くした白熱戦が必至。

女子はこのあと第21回女子世界選手権(12月6~22日・セルビア)と第65回日本総合選手権(12月24~28日・愛知)のため、来年1月11日まで約2ヶ月のブレイク期間に入る。

### 日程変更

**1月11日(土) 三重・鈴鹿市立体育館**  
三重バイオレットアイリス×飛騨高山ブラックブルズ岐阜

※試合開始時間が14:00から15:00に変更



得点王争いトップの広島・宋

◆ 11月2日(土) 女子 岐阜・下呂交流会館		◆ 11月2日(土) 女子 岐阜・下呂交流会館			
三重バイオレット アイリス	25 ( 12-3 ) 11 HC名古屋	ソニー・セミ コンダクタ 28 ( 10-12 ) 16 飛騨高山ブラック ブルズ岐阜	4勝1分4敗 2勝0分7敗		
3勝0分7敗	0勝0分9敗				
0/ 1 阪 本 3/ 4 竹 内 1/ 2 大 山 1/ 2 阿久田 0/ 0 富 田 4/ 7 石 坂 0/ 1 飯 田 0/ 2 石 川 <1/1> K 毛 利 0/ 0 黒 川 0/ 0 漆 畑 0/ 0 伊 藤 2/ 4 小 稲 2/ 4 万 谷 2/2 7/11 原 金 塚 3/ 5 池 原	池 田 0/ 0 伊藤結 2/ 4 高橋 5/15 0/1 橋 2/ 6 丸 山 0/ 2 細 田 0/ 4 竹 内 0/ 2 藤 田 1/ 2 上 野 0/ 0 安 斎 0/ 1 瀧 泽 K <0/1> 山 内 0/ 0 戸塚絢 K <0/1> 戸塚早 0/ 4 金 塚 0/ 0 水 谷 1/ 1	菊 池 K <2/4> 比 嘉 3/ 4 池之端 2/ 3 中 村 1/ 5 松 本 0/ 3 船 坂 0/ 0 小 田 K 日下石 0/ 0 立 野 K 金 5/ 7 2/2 友 野 3/ 7 陣 野 0/ 0 0/ 0 カルリン			
2/2 23/43 4(FPP)1 11/41 0/1	2/4 26/33 7(FPP)5 14/29 2/2				
0.542 13/24 毛 利 シート阻止率	瀧 泽 0/ 0 0.000 戸 塚 16/39 0.410	0.000 0/ 2 藤 田 0.368 7/19 飛 田	菊 池 2/28 0.071 小 田 0/ 0 0.000 立 野 0/ 0 0.000		
0.542 13/24 (GK) 審判(油上・中村)	16/39 0.410 観客 320人	0.333 7/21 (GK) 審判(大石・桜打)	2/28 0.071 観客 525人		
◆ 11月2日(土) 女子 長崎・佐世保市体育文化館		◆ 11月3日(日) 女子 愛知・プラザー体育館			
広島メイプ ルレッズ 24 ( 11-11 ) 22 オムロン	三重バイオレット アイリス 24 ( 12-11 ) 18 飛騨高山ブラック ブルズ岐阜	4勝0分7敗 2勝0分8敗			
8勝0分2敗	7勝2分1敗				
2/2 5/ 9 増 田 0/ 3 高 橋 0/ 0 河 田 3/ 4 大 前 2/ 3 木 村 3/3 6/18 宋海林 0/ 0 塩 見 0/ 0 石 田 K 林 0/ 0 安 斎 0/ 0 塩 田 3/ 6 高 山 <0/3> K 田 口 0/ 0 加須屋 0/ 0 加 藤	藤 間 K <0/4> 澤 田 3/ 5 前 田 0/ 0 吉 田 1/ 2 稻 葉 1/ 6 小 林 0/ 0 藤 井 2/ 4 3/3 石 立 3/ 7 相 澤 1/ 2 永 田 4/ 6 山 中 K <0/1> 勝 連 0/ 0 川 俣 0/ 0 松 本 4/ 6 小 塚 0/ 0 松 尾 0/ 0	2/ 3 阪 本 3/ 5 竹 内 0/ 0 大 山 1/ 1 阿久田 0/ 0 富 田 2/ 4 石 坂 1/ 1 飯 田 1/ 1 石 川 日下石 0/ 0 0/ 0 黒 川 0/ 0 漆 畑 金 2/ 7 2/2 0/ 0 伊 藤 友 野 4/11 2/ 2 小 稲 5/ 7 万 谷 1/1 4/10 原 2/ 5 池 原	菊 池 K <0/1> 比 嘉 3/ 6 池之端 0/ 3 中 村 2/ 2 松 本 5/ 8 船 坂 0/ 1 柴 田 0/ 0 小 田 0/ 0 日下石 0/ 0 立 野 K 金 2/ 7 2/2 友 野 4/11 陣 野 0/ 0	K 藤 田 0/ 0 山 田 4/ 4 高 橋 3/ 7 田 中 0/ 1 儀 間 2/ 3 古 稲 0/ 0 川 崎 1/ 1 細 田 2/ 2 藤 田 2/ 6 石 坂 1/ 3 錦 織 7/ 9 瀧 泽 K <1/1> 2/2 5/ 6 藤 井 1/ 1 カルリン	池 田 0/ 1 伊藤結 1/ 2 福 井 5/12 高 橋 3/ 6 丸 山 0/ 0 3/ 6 2/2 藤 田 2/ 2 上 野 0/ 1 安 斎 0/ 0 瀧 泽 K <1/1> 山 内 0/ 0 戸塚絢 K <0/2> 戸塚早 0/ 1 金 塚 1/ 2 水 谷 0/ 0
5/5 19/43 5(FPP)11 19/38 3/3	1/1 23/39 13(FPP)2 16/38 2/2	2/3 26/40 4(FPP)13 16/34 2/2			
0.000 0/ 0 林 田 0.472 17/36 口 山	藤 間 15/34 0.441 中 0/ 0 0.000	0.484 15/31 毛 利 菊 池 10/33 0.303 立 野 0/ 0 0.000	0.000 0/ 3 藤 田 0.536 15/28 飛 田 戸 塚 14/40 0.350		
0.472 17/36 (GK) 審判(浦川・石崎)	15/34 0.441 観客 915人	0.484 15/31 (GK) 審判(河合・臼井)	10/33 0.303 観客 478人		
0.484 15/31 (GK) 審判(仲野・藤坂)	14/40 0.350 観客 523人				

# 男女個人ランキング 第9週終了現在

**《男子》**

**《女子》**

## 得点王

1 玉井 宏章 (トヨタ自動車東日本)	59点	(8試合)	1 宋 海林 (メイプルレッズ)	74点	(10試合)
2 赤塚 孝治 (北陸電力)	48点	(7試合)	2 原 希美 (バイオレットアイリス)	71点	(11試合)
3 信太 弘樹 (大崎電気)	47点	(7試合)	3 藤井 保奈美 (ソニーセミコンダクタ)	70点	(10試合)
4 高景 淳 (大同特殊鋼)	41点	(7試合)	4 藤井 紫緒 (オムロン)	65点	(9試合)
5 成田 幸平 (湧永製薬)	40点	(7試合)	5 高山 智恵 (メイプルレッズ)	54点	(10試合)
5 濱口 直大 (トヨタ自動車東日本)	40点	(8試合)	6 増田 寛那 (メイプルレッズ)	52点	(10試合)
7 村山 裕次 (琉球コラソン)	39点	(7試合)	7 河田 知美 (北國銀行)	50点	(9試合)
8 松本 雅史 (トヨタ自動車東日本)	36点	(8試合)	8 田中美音子 (ソニーセミコンダクタ)	43点	(10試合)
8 吉田 翔太 (トヨタ自動車東日本)	36点	(8試合)	9 福井 美樹 (H.C.名古屋)	42点	(10試合)
10 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	35点	(7試合)	10 高橋 恵 (ソニーセミコンダクタ)	38点	(10試合)
11 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	34点	(7試合)	10 金 恩恵 (飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	38点	(10試合)

## フィールド得点

1 玉井 宏章 (トヨタ自動車東日本)	54点	(8試合)	1 宋 海林 (メイプルレッズ)	64点	(10試合)
2 信太 弘樹 (大崎電気)	47点	(7試合)	2 原 希美 (バイオレットアイリス)	55点	(11試合)
3 高景 淳 (大同特殊鋼)	41点	(7試合)	3 高山 智恵 (メイプルレッズ)	54点	(10試合)
4 成田 幸平 (湧永製薬)	40点	(7試合)	4 藤井 紫緒 (オムロン)	48点	(9試合)
4 濱口 直大 (トヨタ自動車東日本)	40点	(8試合)	5 藤井 保奈美 (ソニーセミコンダクタ)	46点	(10試合)
6 赤塚 孝治 (北陸電力)	39点	(7試合)	6 田中美音子 (ソニーセミコンダクタ)	43点	(10試合)
7 村山 裕次 (琉球コラソン)	37点	(7試合)	7 増田 寛那 (メイプルレッズ)	41点	(10試合)
8 松本 雅史 (トヨタ自動車東日本)	36点	(8試合)	8 福井 美樹 (H.C.名古屋)	39点	(10試合)
9 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	35点	(7試合)	9 高橋 恵 (ソニーセミコンダクタ)	38点	(10試合)
9 吉田 翔太 (トヨタ自動車東日本)	35点	(8試合)	10 横嶋 かおる (北國銀行)	35点	(9試合)

## シート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 松本 雅史 (トヨタ自動車東日本)	36点/ 51射	0.706	1 横嶋 かおる (北國銀行)	35点/ 45射	0.778
2 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	35点/ 50射	0.700	2 高山 智恵 (メイプルレッズ)	54点/ 74射	0.730
3 吉田 翔太 (トヨタ自動車東日本)	35点/ 55射	0.636	3 高橋 恵 (ソニーセミコンダクタ)	38点/ 54射	0.704
4 信太 弘樹 (大崎電気)	47点/ 78射	0.603	4 田中美音子 (ソニーセミコンダクタ)	43点/ 75射	0.573
5 高景 淳 (大同特殊鋼)	41点/ 70射	0.586	5 藤井 保奈美 (ソニーセミコンダクタ)	46点/ 86射	0.535
6 玉井 宏章 (トヨタ自動車東日本)	54点/ 95射	0.568	6 藤井 紫緒 (オムロン)	48点/ 91射	0.527
7 成田 幸平 (湧永製薬)	40点/ 71射	0.563	7 宋 海林 (メイプルレッズ)	64点/ 126射	0.508
8 赤塚 孝治 (北陸電力)	39点/ 84射	0.464	8 増田 寛那 (メイプルレッズ)	41点/ 92射	0.446
9 濱口 直大 (トヨタ自動車東日本)	40点/ 91射	0.440	9 原 希美 (バイオレットアイリス)	55点/ 152射	0.362
10 村山 裕次 (琉球コラソン)	37点/ 87射	0.425	10 福井 美樹 (H.C.名古屋)	39点/ 110射	0.355

## 7mスロー得点

1 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	15点	(7試合)	1 藤井 保奈美 (ソニーセミコンダクタ)	24点	(10試合)
2 東長濱 秀希 (大崎電気)	11点	(7試合)	2 河田 知美 (北國銀行)	19点	(9試合)
3 野田 祐希 (豊田合成)	10点	(7試合)	3 藤井 紫緒 (オムロン)	17点	(9試合)
4 赤塚 孝治 (北陸電力)	9点	(7試合)	4 原 希美 (バイオレットアイリス)	16点	(11試合)
4 渡部 仁 (トヨタ車体)	9点	(7試合)	5 増田 寛那 (メイプルレッズ)	11点	(10試合)
6 水野 裕矢 (琉球コラソン)	8点	(7試合)	6 金 恩恵 (飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	10点	(10試合)
6 平子 卓人 (大同特殊鋼)	8点	(7試合)	6 宋 海林 (メイプルレッズ)	10点	(10試合)
8 樋口 瞳 (湧永製薬)	7点	(7試合)	8 柴田 理紗 (飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	7点	(9試合)
9 玉井 宏章 (トヨタ自動車東日本)	5点	(8試合)	9 池原 綾香 (バイオレットアイリス)	6点	(11試合)
9 連基徳 (琉球コラソン)	5点	(7試合)	9 吉田 起子 (オムロン)	6点	(10試合)

## シート阻止率 (フィールドシートを受けた数が、男子9位・女子7位以内のGKが対象)

1 甲斐 昭人 (トヨタ車体)	100本/ 236射	0.424	1 藤間 かおり (オムロン)	145本/ 301射	0.482
2 木村 昌丈 (大崎電気)	49本/ 121射	0.405	2 寺田 三友紀 (北國銀行)	125本/ 271射	0.461
3 志水 孝行 (湧永製薬)	89本/ 228射	0.390	3 飛田 季実子 (ソニーセミコンダクタ)	121本/ 297射	0.407
4 藤堂 聖二 (豊田合成)	79本/ 226射	0.350	4 毛利 久美 (バイオレットアイリス)	128本/ 318射	0.403
5 川添 将典 (北陸電力)	85本/ 244射	0.348	5 田口 舞 (メイプルレッズ)	100本/ 251射	0.398
6 松野 雅崇 (トヨタ紡織九州)	49本/ 149射	0.329	6 戸塚 純子 (H.C.名古屋)	121本/ 350射	0.346
7 関口 勝志 (トヨタ自動車東日本)	109本/ 341射	0.320	7 菊池 麻美 (飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	87本/ 328射	0.265
8 久保 侑生 (大同特殊鋼)	48本/ 153射	0.314			
9 石田 孝一 (琉球コラソン)	60本/ 198射	0.303			

## 7mスロー阻止率 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 内田 武志 (琉球コラソン)	10本/ 18射	0.556	1 戸塚 純子 (H.C.名古屋)	3本/ 11射	0.273
2 有江 啓 (北陸電力)	2本/ 7射	0.286	2 藤間 かおり (オムロン)	8本/ 30射	0.267
3 木村 昌丈 (大崎電気)	3本/ 11射	0.273	3 瀧澤 瞳子 (H.C.名古屋)	3本/ 13射	0.231
4 藤戸 量介 (豊田合成)	3本/ 14射	0.214	4 毛利 久美 (バイオレットアイリス)	5本/ 23射	0.217
5 木下 国大 (トヨタ車体)	3本/ 17射	0.176	5 山根 エレナ (バイオレットアイリス)	3本/ 15射	0.200
5 関口 勝志 (トヨタ自動車東日本)	3本/ 17射	0.176	5 山中 絵里奈 (オムロン)	2本/ 10射	0.200
7 伊藤 浩太郎 (湧永製薬)	1本/ 7射	0.143	7 菊池 麻美 (飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	5本/ 29射	0.172
8 松野 雅崇 (トヨタ紡織九州)	1本/ 8射	0.125	8 寺田 三友紀 (北國銀行)	2本/ 12射	0.167

第38回日本ハンドボールリーグ成績表

第9週第3日終了 11月4日

順位	男子	トヨタ車体	大同特殊鋼	大崎電気	トヨタ紡織九州	湧永製薬	琉球コラソン	トヨタ自動車東日本	豊田合成	北陸電力	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	トヨタ車体		30 ○ 25	30 ○ 29	29 ○ 24		32 ○ 28	33 ○ 23	27 △ 27	33 ○ 21	7	6	1	0	13	214	177	37
2	大同特殊鋼	25 ● 30		28 ○ 26	30 ○ 24	21 ○ 19		29 ○ 27	30 ○ 22	34 ○ 18	7	6	0	1	12	197	166	31
3	大崎電気	29 ● 30	26 ● 28		33 ○ 28	30 ○ 27	25 ○ 21	33 ○ 32	25 ○ 22		7	5	0	2	10	201	188	13
4	トヨタ紡織九州	24 ● 29	24 ● 30	28 ● 33		34 ○ 30	23 ○ 22	41 ○ 24		34 ○ 24	7	4	0	3	8	208	192	16
5	湧永製薬		19 ● 21	27 ● 30	30 ● 34		34 ○ 22	29 ○ 29	26 ○ 22	23 ○ 19	7	3	1	3	7	188	177	11
6	琉球コラソン	28 ● 32		21 ● 25	22 ● 23	22 ● 34		31 ○ 27	27 ○ 26	25 ○ 20	7	3	0	4	6	176	187	-11
7	トヨタ自動車東日本	23 ● 33	27 ● 29	32 ● 33	24 ● 41	29 △ 29	27 ● 31		33 ○ 30	32 ○ 22	8	2	1	5	5	227	248	-21
8	豊田合成	27 △ 27	22 ● 30	22 ● 25		22 ● 26	26 ● 27	30 ● 33		27 ○ 23	7	1	1	5	3	176	191	-15
9	北陸電力	21 ● 33	18 ● 34		24 ● 34	19 ● 23	20 ● 25	22 ● 32	23 ● 27		7	0	0	7	0	147	208	-61

順位	女子	広島メイプルレッスン	オムロン	北國銀行	ソニーセミコンダクタ	三重バイオレットアイス	飛騨高山ブラックブルズ岐阜	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差	
1	広島メイプルレッスン		23 24 ● ○ 24 22	22 28 ● ○ 33 21	26 27 ○ ○ 22 20	30 28 ○ ○ 25 20	39 ○ 17	30 ○ 14	10	8	0	2	16	277	218	59	
2	オムロン	24 22 ○ ● 23 24		26 △ 26	22 25 ○ △ 21 25	24 32 ○ ○ 17 12	23 ○ 21	24 30 ○ ○ 7 16	10	7	2	1	16	252	192	60	
3	北國銀行	33 21 ○ ● 22 28	26 △ 26		21 ○ 20	28 35 ○ ○ 17 21	28 35 ○ ○ 15 16	32 ○ 13	9	7	1	1	15	259	178	81	
4	ソニーセミコンダクタ	22 20 ● ● 26 27	21 25 ● △ 22 25	20 ● 21		26 ○ 19	25 28 ○ ○ 16 16	28 28 ○ ○ 8 18	10	5	1	4	11	243	198	45	
5	三重バイオレットアイス	25 20 ● ● 30 28	17 12 ● ● 24 32	17 21 ● ● 28 35	19 ● 26		25 24 ○ ○ 19 18	23 25 ○ ○ 16 11	11	4	0	7	8	228	267	-39	
6	飛騨高山ブラックブルズ岐阜	17 ● 39	21 ● 23	15 16 ● ● 28 35	16 16 ● ● 25 28	19 18 ● ● 25 24		21 21 ○ ○ 18 20	23 25 ○ ○ 16 11	10	2	0	8	4	180	265	-85
7	HC名古屋	14 ● 30	7 16 ● ● 24 30	13 ● 32	8 18 ● ● 28 28	16 11 ● ● 23 25	18 20 ● ● 21 21		10	0	0	10	0	141	262	-121	

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。